

幸楽園便り

発行
特別養護老人ホーム 幸楽園
秋田市上新城中字片野四番地
TEL 018-870-2224
【2012年7月号】



現在



10年前



20年前



幸楽園正面玄関

今年、幸楽園は創立三十周年を迎えました。開設当初から勤務している職員四名に話を伺ってみました。

・三十周年にあたり、一番心に残る出来事は何ですか？

施設長 昨年の東日本大震災で三十時間に渡る停電ですね。人生五十八年で最大の出来事でした。

荻原 そうですね。利用者様の落ち着きと、職員の適切な対応で無事に乗り越える事が出来ました。

池田 昭和五十八年の日本海中部地震も忘れられません。開設の翌年でしたが、居室の床や駐車場の地面が波打ったように歪んだりして、施設が壊れるんじゃないかと不安になりました。

佐藤 私はやっぱり措置から介護保険法に移行した事です。

・幸楽園の良い所を一つ上げて下さい。
施設長 職員が楽しく仕事している事です。

池田 それは、施設長のおかげです（全員笑）
佐藤 職員みんな一生懸命頑張る事です。
荻原 行事が多く、利用者を楽しませたいとの気持ちで、協力し合っているからでしょうね。また、ご利用者様が安心・安全に過ごせるように設備投資をしている事です。

・三十年間で、変わった事は？（公私とも）

施設長 出勤時間です。開園当初は八時頃でしたが、今では七時前になりました。

佐藤 私は体力の衰えですね。（笑）
池田 気持ちは、女子高生のままですが、身体が来なくなりました。（笑）

荻原 私事ですが、三十年前は小学一年生だった息子に子供が生まれ、おばあちゃんになった事。そして、孫が小学校に入学した事です。

・入社当時の初心を教えてください。

施設長 お酒が好きで深酒する事もありましたが、それでも翌日は遅刻をしない。休まない。体調管理に気をつける。迷惑をかける心構えですかね。

荻原 定年まで健康に働く事。定年後も元気で健康である為、再雇用して頂いています。

佐藤 和に近づけるようにしています。
池田 十八歳で右も左も分からず、三年がんなばろ〜と心掛けて来て三十年続いて来たので、退職までがんなばろ〜です。

・法人職員として、三十年間貫いてきたことは？

施設長 事務員として入ったので、赤字を出さない経営や職員が働きやすい環境・待遇が良くなるようにして来ました。



<左：池田さつき><右：半田施設長>

荻原 常に笑顔で利用者様の立場になって接する事です。

池田 常に利用者様の事を考えてきました。

佐藤 利用者様が安心出来、ここを選んで良かったと思つて下さる施設を目指して来ました。



<左：佐藤初世><右：荻原真佐子>

・最後に、開設当初からの職員として、以後皆さんが幸楽園に力添え下さる事を教えてください。

施設長 施設長の立場から、利用者様が満足いただける環境作りは勿論ですが、お世話する職員が安心して働けるような職場にしていきたいですね。

荻原 退職後は、ボランティアとして少しでも役に立ちたいと思っています。

佐藤 定年まで、一生懸命頑張る事です。
池田 これまで三十年勤めてきましたが、退職後は、利用者として幸楽園に力添えしたい（笑）

ありがとうございます。三十年幸楽園を支え続けて下さった四名の職員に、私達後輩職員も見習い、幸楽園の発展に役立ちたいと思います。
今秋には、幸楽園三十周年記念行事の予定もありますので、乞うご期待です。

幸楽園ぬくもり写真館

みんなでお花見



「皆さん、そろいましたか!？」



「今年も見事に咲いたね〜😊」



「美女と一緒に記念撮影」



双子のひ孫ちゃん可愛いねえ

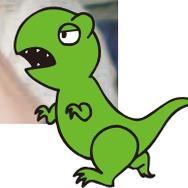
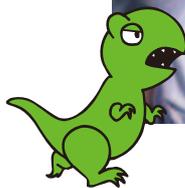
ある日のひとコマ



笑顔がまぶしい二人😊



ガオ〜ッ



端午の節句



「天まで泳げ!! みんなの鯉のぼり」



「鯉のぼりケーキ、良く出来てるね!!」



「願いを込めて、鯉を折ってます」

たくさんの皆様にご利用いただき本当に嬉しく思っています。 お問い合わせ先 ☎ 018-870-2227

ショートステイ 幸楽園便

今年も幸楽園の桜が綺麗に花を咲かせてくれました。2階の窓から見える桜に皆さん魅了されました。



「じいさん、あつたげして気持ちいいなあ〜」「んだなあ」



満開の桜をバックにポーズ!!

ミニミニ農園



昨年、大好評だった「ショートステイ園芸コーナー」。今年もミニとまと・きゅうり・枝豆・三寸人参・朝顔・ふうせんかずら・オレンジコスモスを植えました。

「早くおがってこいなあ。」と魔法の言葉を唱えながら“笑顔の花”が咲くのを楽しみにしています。

<種まき>



「これくらいかしら…」

<水やり>



「大きくなれよ〜」

外旭川老人デイサービスセンター

外出デイ

春は桜、つつじ、水芭蕉見物…毎月外出が楽しみです。お天気に恵まれればなおの事、笑顔も“満開”です。



「つつじをバックにハイチーズ!!」

余暇活動

月に1回、お茶の先生がボランティアで、ご利用者様に抹茶や和菓子を振舞って下さいます。本格的な茶器で点てて下さるお茶に、至福のひと時を味わっていただいております。



「お茶の先生がたてたお茶、どんな味かしら?」



「私のお茶とらないで!!」

畑づくり

デイサービスセンターの東側にホールからも作物の成長を楽しめる“畑”があります。水掛けや草取りをしたかきがあって、与作豆の収穫をし、朝採った新鮮な豆を昼食のお味噌汁で召し上がって頂きました。他にもミニトマトや枝豆等まだまだ楽しみがいっぱいです。



「こんなに大きくなりました!」



「採れたては美味しいねえ」



ご利用についてのご相談は
☎ 868-5415



スタッフ一同
お待ちしております

医務室から 口腔ケアについて

今年から新たな取り組みとして口腔ケアを充実させるため学習会を行っています。歯科医師を講師にお招きし、口腔ケアの目的など基本的な事から利用者一人一人に対し個別に指導を受け、さらに個々にあった口腔ケアが出来るよう対応しています。

学習会から唾液がとても大切であることが解りました。唾液の成分には、消化吸収を助ける効果の他、虫歯予防や雑菌を死滅させたり、癌を抑える働きもあり色々な病気の予防になります。したがって口腔ケアの重要性を再確認し日々の業務に活かしていきたいと思えます。



<勉強会の様子>



<医師による口腔ケア>

調理室から 選択食の実施

楽しく充実した食生活に少しでも繋がるように、季節を味わえるような旬の食材を使用したり、行事食やお楽しみ昼食などを行っています。その中の一つに「ご利用者さまに、自らの意思で食べたい方を選んでいただく**選択食**」があります。



喫茶にて♪

季節の上生菓子～さくら茶と共に～
「どれもきれいでおいしそうですねー」

お花見弁当

「4種類のおむすびの中から好きなどうぞ！」
「私はやっぱり、しょうゆおにぎりとは…
迷っちゃうなあ」

他に主食の選択などを行っています。



幸楽園居宅介護支援事業所 幸楽園在宅介護支援センター

気温が高くなってくると、脱水症の注意が必要です。特に高齢者は、「何となく元気がない」「ぐったりしていて反応が鈍い」というように意識の鈍化がみられる場合にも**脱水**の可能性があります。



○その他、こんな症状だったら脱水状態を疑いましょう

「皮膚や口唇、舌の乾燥、皮膚の弾力性低下、微熱、食欲低下、脱力、立ちくらみ、意識障害、血圧低下、頻脈、すぐに疲れる」など

予防のため、のどが渇く前に水分補給する習慣をつけましょう。体調に異変を感じた時は、早めに主治医へ相談しましょう。また、水分・食事の取り方や準備など、生活に不安がある方は、当事業所へご相談ください。

☎ 870-2226 佐藤、川井、保坂、柿田がお待ちしております。

幸楽園訪問介護ステーション

訪問介護サービスは要介護1～5と認定された方や介護予防の方にご利用いただけます。

ホームヘルパーが家庭を訪問して家事や調理、身体介護のサービスを提供させていただいています。また、訪問介護サービスは、高齢者の方に向けてだけではなく、障害者に向けてのものともなっています。

訪問介護の対象となるサービス

生活援助	高齢者が単身、家族が障害・疾病等のため、本人や家族が家事を行う事が困難な場合に、行われる日常生活サポート。 (具体例) 掃除、洗濯、調理、買い物、薬の受取りなど。	
身体介護	本人の身体、精神状態に対応した「心と体のケア」。 (具体例) 食事の介助、排泄の介護、衣類の脱着介助、身体の清拭、入浴介助、通院介助、散歩、体位変換等の介助、口腔の清潔など。	

当事業所では、ご利用者様のご希望に添えるよう、定期的に調理実習・研修を開催し“腕を上げて”おります。



ご利用については…☎870-2228 サービス提供責任者 石井 迄

トピックス

時計いただきました!!

～当園を長くご利用くださいました、中嶋愛子様のご家族より、ご寄贈～



大きくて、見やすい時計です。さっそく設置させていただきました。

当園への多大なご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。

ねえ！新車に乗ってどこ行く！

～2011年度日本財団福祉車両の整備～

平成23年度事業として「財団法人日本財団」より助成いただき、2台の送迎巡回車両を更新いたしました。地域福祉増進のため、大切に使用させていただきます。



○ダイハツ ハイゼットスロパー
【ショートステイ幸楽園】
スロープにより車椅子のまま乗用いただけます。



○ホンダ ライフ
【幸楽園ヘルパーステーション】
ホームヘルパー巡回車両として運用いたします。

ありがとう 清掃ボランティア

～幸楽園地元救援隊の皆様～



〈ある日の会話〉

- 佐藤隊長 「さらに我が隊に協力できることはないかね。」
- 担当 I 「いやー敷地内の草刈りが大変で、草刈り機1台では複数日要します。すごく大変で…。」
- 佐藤隊長 「草刈りだば、我が隊にプロいっばいだから手かしてだすよ。こまった時はお互いさまだべ。まかせておげって！」
- 担当 I 「いやー助かります。ぜひお願いします。」

ということで、

平成24年5月26日(土)に協力いただきました。全域がすっきり、やっぱりきれいは気持ちいいものです。農作業時期のお忙しい中、早朝からたくさんの方の隊員の皆様にご協力賜り、感謝申し上げます。

自動体外式除細動器を設置完了

～施設サービスに安心をもうひとつ～

特別養護老人ホーム幸楽園開設30周年記念事業

当施設は秋田市と「災害時における福祉避難所の開設等に関する協定」を締結いたしました。その協定を全うすべく、AEDを設置いたしました。

ご利用者やご面会の皆様は勿論、災害時等の避難者の皆様に、安全と安心を提供します。



○玄関前に設置いたしました。



○施設内研修会
使用方法を職員が学習中

平成23年度 決算報告書

資金収支計算書

(単位：円)

	決算額
取	
經常活動収入	426,282,081
施設設備等収入	7,643,425
入	
財務活動収入	0
収入合計	433,925,506
支	
經常活動支出	399,068,002
施設設備等支出	17,030,873
出	
財務活動支出	0
収入合計	416,098,875
当期資金収支差額	17,826,631
前期末払金資金残高	175,715,064
当期末払金資金残高	193,541,695

事業活動収支計算書

(単位：円)

	決算額
取	
事業活動収入	425,805,449
事業活動外収入	6,921,460
入	
特別収入	7,643,425
収入合計	440,370,334
支	
事業活動支出	409,971,715
事業活動外支出	6,517,192
出	
特別支出	7,663,437
収入合計	424,152,344
当期活動収支差額	16,217,990
前期末繰越活動収支差額	259,969,285
当期末繰越活動収支差額	276,187,275

財産目録

(単位：円)

区分	決算額
資産の部	589,351,724
負債の部	54,487,696
差引純資産	534,864,028

貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	決算額		決算額
流動資産	207,992,449	流動負債	14,450,754
固定資産	381,359,275	固定負債	40,036,942
		負債の部合計	54,487,696
		純資産の部	
		基本金	76,424,364
		国庫補助金等特別積立	67,603,161
		その他積立金	114,649,228
		次期繰越活動収支差額	276,187,275
		純資産の部合計	534,864,028
資産の部合計	589,351,724	負債及び純資産の部合計	589,351,724

*各会計の財務諸表は、法人本部に備え付けてあり、閲覧できます。

幸楽園周辺の歴史散歩

⑥

谷地の弘法大師堂

土崎港町から幸楽園に向かう道は、飯田を過ぎると田圃畷になって、やがて丘陵地の麓に達する。この辺りには疎らに人家が点在しているが、県道を挟んで南側が上新城中字片野、北側が下新城岩城字明通りで通称上谷地と呼ばれている。県道が登坂になる前に、左に入る小道がこの上谷地への入り口だ。

普通乗用車だとか走れる道幅だから、この田圃道を行くと程なく丘の山裾に着く。その一角に鬱蒼と聳える杉が二本立っていて、根方から清澄な湧き水が流れている。かたわらの小径をたどると、奥に立っている小さな祠が今回のテーマだ。

堂宇の由来を語る伝説から始める。夏の日盛りのことだった。港の方からやって来た一人のみすぼらしい雲水が、飯田の村にさしかかった。とある一軒を尋ねて喉の渇きを訴え、一杯の水を所望したのだが、村人はにべもなかった。こんなうす汚い乞食坊主に飲ませる水などない、さつさと立ち去れと追い払ってしまったのだ。

この先二軒三軒と回ってみても、皆同じだった。仕方なく僧は、行く手に見える小高い山の麓をめざしてトボトボと歩み始めた。頭上から真夏の太陽が容赦なく照りつける。だが、僧には出る汗もないほど疲れていた。

歩くこと小半時、ようやく雑木林の茂る山の麓に着いた。大きく枝を開いたミズナラの木は、サラサラと葉擦れの音を奏でて格好の日陰をつくっている。そしてなお都合の良いことに土手の中腹から、澄み切った冷たい水が、とめどなく湧き出ているではないか。雲水はこころゆくまで喉を潤した。

ようやく人心地のついた所で背中から握り飯を下ろし、ここで遅い昼餉をとった。やがて一時の休息が終わって立つときに、食事に用いた二本の箸を地面に差し込んで、一礼合掌、何処ともなく立ち去ったのだ。

後日、この日のみすぼらしい旅の雲水が、みちのく行脚中の高僧、弘法大師様だったと知った上谷地の人たちは、その足跡をしのんで一字を建てたと言う。これがお堂の由来だ。

伝説は勧善懲悪の戒めから、雲水への水の喜捨を断った飯田の村は、永久に良い飲み水が得られなかったと言っている。だがこの話には歴史的な根拠はない。弘法大師こと僧空海は平安時代（八〇〇年頃）の人で、かたや飯田の成立は佐竹入府と前後する。

飯田のルーツは信州飯田から下ってきた数名の六部たちだそうだが、広大なこの大谷地の中洲に住み着いて、藩許で開拓が始まったのが文化元年（一八〇四年）だから、弘法様とは一千年の差がある。

また当時は飯田から上谷地に来る道路など無かった。この辺りの開拓が始まったのが寛永二年（一六二五）頃だ。新しい天地を求めてやって来た入植者たちが、産土の森として建てたのがこの祠で、伝説は後日付け加えたものだろう。今はこの一字と共に、食事に用いた弘法様の箸が活着したと言う、対の老杉が天を支え、湧き水は年中絶えることのない名水となっている。（永田賢之助）



～新人職員紹介～

①趣味 ②仕事をしていく上での抱負 ③今、一番会いたい有名人

特別養護老人ホーム幸楽園【介護職員】



佐藤 茜
①音楽を聴くこと、ライブに行くこと
②利用者様が安心して快適に生活できるよう頑張ります！
③a i k o



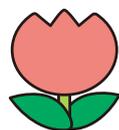
吉清水 友恵
①ドライブ
②先輩職員を見習い、日々成長できるよう努力し、笑顔で忘れず利用者様に携わりたいです。
③IKKOさん

当園も、この春に開設三十周年を迎えました。地域の皆様に支えて頂きながら、節目の年を迎えられた事を心より感謝致します。この幸楽園便りを通じて、今後も一人でも多くの方達に当園の情報を発信していきたいと思っておりますので、ご期待下さい。

編集後記



出産



・加賀屋恭子さん
長女 雅ちゃん
平成二十四年
四月八日生



すくすく育ってね

結婚



・浜田慎也・真緒さん
平成二十四年
四月六日入籍
・堀井翔平・沙織さん
平成二十四年
六月二十八日入籍
お幸せに♡